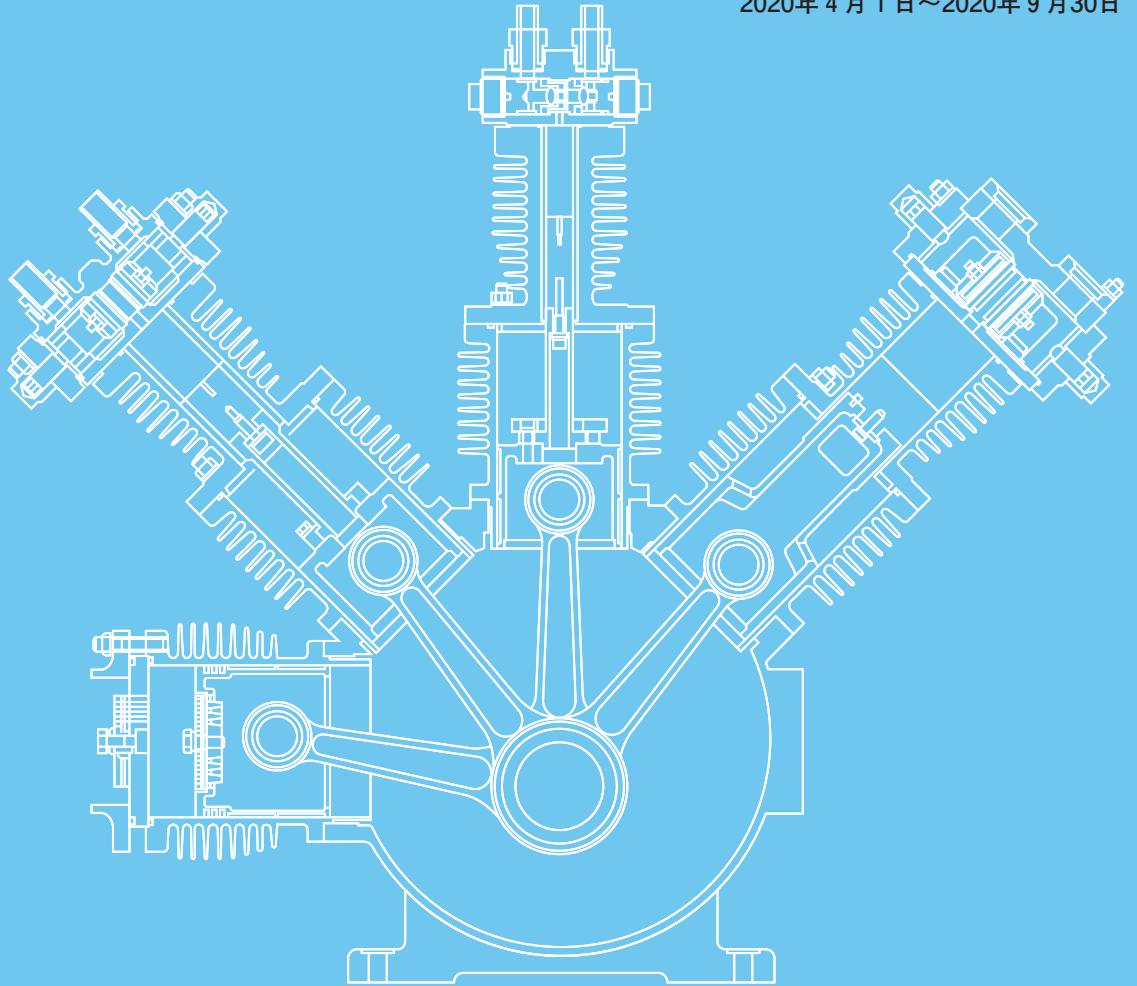


# 株主通信

## 第88期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しており  
ます。



株式会社加地テック

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2020年度中間期の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

上半期に大きく経済に影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、欧州での感染再拡大が深刻化する等、依然として世界各地で蔓延しており、感染拡大の長期化が予測される中、先行きに対する見方は慎重になっております。

このような状況下、当中間期における当社業績は、大口の海外プラント向け案件の減少等により、売上高は前年同期比16.1%減の2,006百万円となりました。一方、売上高は減少したものの、材料調達コスト低減等の経営努力による採算改善の結果、売上総利益は前年同期比31.8%増の704百万円となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動に一定の制限を受け、見積費用・出張旅費をはじめとする営業関連費用が減少したことにより、販売費及び一般管理費は前年同期比7.1%減の525百万円となり、営業利益は179百万円（前年同期は営業損失30百万円）、経常利益は188百万円（前年同期は経常損失25百万円）となりました。

なお、前年度に引き続き、本社総合組立工場の新設に伴い、一部工場の建替えに係る工場解体費用40百万円を工場再編費用として特別損失に計上しており、結果として中間純利益106百万円（前年同期は

中間純損失14百万円）となりました。当該特別損失の計上は、業績予想に織り込まれており、現時点において業績は概ね予定通り推移しております。

また、通期業績は、受注済みの売上予定案件と下半期受注案件及びアフターサービスの売り上げ増により、予測通りとなる見込みです。

下半期の事業活動は、来年度案件を含めた水素関連案件、PETボトル成形用案件の販売促進と、海外向け案件の対応力強化に注力すると共に、中長期的・持続的な成長を実現するために今年度より進めております「2020中期経営計画」の目標達成に向けた取り組みを着実に実行してまいります。これにより当社の企業価値向上を図り、事業を通じた持続可能な社会の実現を引き続いて目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2020年11月

代表取締役社長  
鈴木 博士

## 事業の概況

## 中間貸借対照表 (2020年9月30日現在)

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が緊急事態宣言の解除後も依然として収束の目処は立っておらず、先行きに対する見方は慎重になっております。

日銀短観(2020年9月調査)によれば、2020年度の経常利益計画(全規模・全産業)は、前年度28.5%減と6月調査(同19.8%減)から引き続き大幅な下方修正となり、感染再拡大のリスクが残存する中で、企業が収益見通しに慎重になっていることを表した結果となりました。また、収益見通しに引上げられる形で、設備投資計画(全規模・全産業)についても、前年度2.7%減と6月調査(同0.8%減)から下方修正された結果となりました。

このような状況下、当中間期における当社業績は、大口の海外プラント向け案件の減少等により、売上高は前年同期比16.1%減の2,006百万円となりました。売上総利益は前述の売上高減少はあったものの、材料調達コスト低減等の経営努力による採算改善の結果、前年同期比31.8%増の704百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比7.1%減の525百万円となりました。この主たる要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動に一定の制限を受け、見積費用・出張旅費をはじめとする営業関連費用が減少したことによります。以上から、営業利益は179百万円(前年同期は営業損失30百万円)、経常利益は188百万円(前年同期は経常損失25百万円)となりました。一方で前年度に引き続き、本社総合組立工場の新設に伴い、一部工場の建替えに係る工場解体費用40百万円を工場再編費用として特別損失に計上しており、結果として中間純利益106百万円(前年同期は中間純損失14百万円)となりました。なお、当該特別損失の計上は、業績予想に織り込まれており、現時点において業績は概ね予定通り推移しております。

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
流 動 資 産		
現金及び預金		914,845
受取手形		336,559
売掛金		1,414,077
棚卸資産		2,397,389
預け金		1,900,000
その他の流動資産		200,924
貸倒引当金		△14,400
流動資産合計		7,149,396
固 定 資 産		
有形固定資産		982,086
無形固定資産		98,761
投資その他の資産		439,212
固定資産合計		1,520,060
資 産 合 計		8,669,457
負 債 の 部		
流 動 負 債		
支払手形		897,302
買掛金		262,416
短期借入金		10,000
未払法人税等		54,759
賞与引当金		141,431
受注損失引当金		55,300
その他の流動負債		557,037
流動負債合計		1,978,248
固 定 負 債		
退職給付引当金		552,193
その他の固定負債		8,980
固定負債合計		561,173
負 債 合 計		2,539,422
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		
資本金		1,440,000
資本剰余金		1,203,008
利益剰余金		3,596,521
自己株式		△109,318
株主資本合計		6,130,211
評 価 ・ 換 算 差 額 等		
繰延ヘッジ損益		△176
評価・換算差額等合計		△176
純 資 産 合 計		6,130,034
負 債 ・ 純 資 産 合 計		8,669,457

## 中間損益計算書 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	2,006,318
売 上 原 価	1,301,703
売 上 総 利 益	704,615
販売費及び一般管理費	525,209
営 業 利 益	179,405
営 業 外 取 益	10,090
営 業 外 費 用	661
経 常 利 益	188,834
特 別 利 益	3,900
特 別 損 失	47,577
税引前中間純利益	145,156
法 人 税 等	38,200
中 間 純 利 益	106,956

(注) 1株当たり中間純利益(期中平均株式数による) 64円62銭

## 中間株主資本等変動計算書 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
2020年4月1日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			
中間純利益			
自己株式の取得			
当中間会計期間中の変動額合計			
2020年9月30日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金			自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	
	利 益 準 備 金	其 他 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計			
別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
2020年4月1日残高	141,600	625,000	2,789,170	3,555,770	△109,026	6,089,752
当中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△ 66,205	△ 66,205		△ 66,205
中間純利益			106,956	106,956		106,956
自己株式の取得					△ 292	△ 292
株主資本以外の項目の当中間会計期間中の変動額(純額)						
当中間会計期間中の変動額合計			40,750	40,750	△ 292	40,458
2020年9月30日残高	141,600	625,000	2,829,921	3,596,521	△109,318	6,130,211

## 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨) (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)

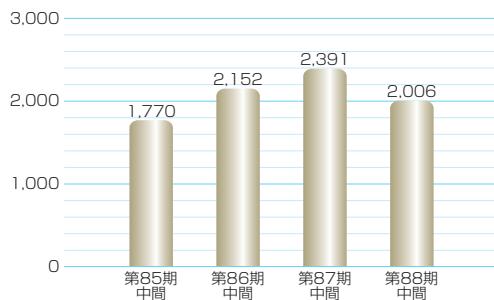
(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	170,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 95,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 67,171
現金及び現金同等物の中間期末残高	914,845

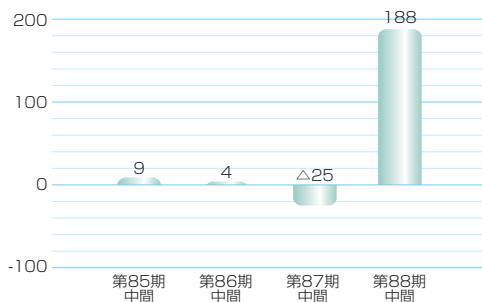
	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計
	繰 延 税 金 等	評 価 差 額	換 算 差 額	
2020年4月1日残高		42	42	6,089,795
当中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△ 66,205
中間純利益				106,956
自己株式の取得				△ 292
株主資本以外の項目の当中間会計期間中の変動額(純額)	△	219	△	219
当中間会計期間中の変動額合計	△	219	△	40,239
2020年9月30日残高	△	176	△	6,130,034

# 業績ハイライト

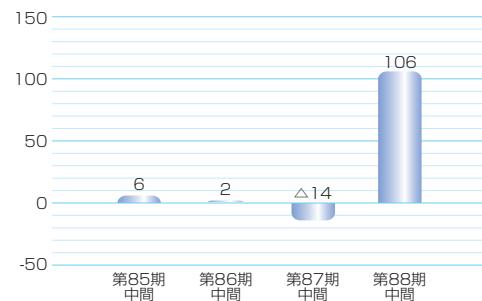
## 売上高 (単位：百万円)



## 経常利益又は経常損失 (△) (単位：百万円)



## 中間純利益又は純損失 (△) (単位：百万円)



## 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



## 1株当たり純資産額 (単位：円)



## 1株当たり中間純利益又は純損失 (△) (単位：円)



※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり純資産額、1株当たり中間純利益は当該株式併合を考慮した金額を記載しています。

## 会社の概要

社名	株式会社加地テック KAJI TECHNOLOGY CORPORATION
創立	明治38年5月(1905年)
会社設立	昭和9年2月(1934年)
資本金	14億4,000万円(東京証券取引所市場第二部上場)
製造品目	空気及びガス圧縮機 水冷・空冷式圧縮機 給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機 石油化学・産業ガス用 電力・試験・一般産業用 PETボトル成形用 天然ガス自動車燃料充填用 燃料電池自動車燃料充填用 各種ガス回収精製装置
所在地	本社・工場 〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地 TEL: 072-361-0881(代表) FAX: 072-362-4491(人事総務部) 東京支社・サービスセンター 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3丁目6番4号 ヒューリック葛西臨海ビル4階 TEL: 03-5679-6910(代表) FAX: 03-5679-6950

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第二部
株主名簿管理人兼特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) [アドレス] <a href="http://www.kajitech.com">http://www.kajitech.com</a> ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。